

富田林市下水道管渠長寿命化 PFI 事業に関する

提案書作成要領

平成 30 年 12 月 10 日

富田林市

目 次

1 本書の位置づけ.....	1
2 提案書作成要領.....	1
2.1 提案書作成に当たっての留意事項.....	1
2.2 提案書の構成及び提案事項（記載事項）.....	1
【別紙2-1】提案書の構成及び提案事項（記載事項）.....	2

1 本書の位置づけ

本書は、富田林市（以下「市」という。）が富田林市下水道管渠長寿命化 PFI 事業（以下「本事業」という。）を実施する事業者の公募に適用するもので、入札説明書と一体のものである。

本事業の入札者は、入札説明書の内容を十分に理解した上で、本書に従い提案書を作成、提出することとする。なお市が指示した場合を除き、原則として提出後の修正、差し替え及び再提出を認めないので留意すること。

2 提案書作成要領

2.1 提案書作成に当たっての留意事項

提案書の作成に当たっては、市から特別な指示がない限り、以下の事項に留意すること。

- ・ 様式については「入札説明書別添 5 様式集」の様式 9 を参考とする。
- ・ 提案書の各様式については、複数枚にわたり作成を可能とするが、簡潔に纏める事とする。
- ・ 使用する言語は日本語、単位は計量法（平成 4 年法律第 51 号）に定めるもの、通貨は日本円、時刻は日本標準時とする。
- ・ Microsoft 社製 Word 又は Excel により作成することを基本とする。ただし、提案書に貼付する図表及び図面については、この限りでない。
- ・ 用紙サイズは A 4 版及び A 3 版を基本とする。
- ・ 製本は A 4 版ファイル綴じとし、図面等で A 3 版を使用する場合は A 4 版に折り込むこと。
- ・ 原則として横書きで記載すること。
- ・ 使用する文字サイズは 12 ポイント以上を基本とする。ただし、図表中及び図面中の文字サイズについては、この限りでない。

2.2 提案書の構成及び提案事項（記載事項）

提案書は、別紙 2-1「提案書の構成及び提案事項（記載事項）」に示す構成に従い、すべての項目を網羅して作成すること。

提案書において、グループ名は表紙にだけ記載するものとし、それ以外の箇所にグループ、構成員及び協力企業の名称を記載しないこと。

【別紙 2 - 1】 提案書の構成及び提案事項（記載事項）

章	節	留意事項
表紙	<ul style="list-style-type: none"> ・ 題名 ・ 日付 ・ グループ名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 題名は、「富田林市下水道管渠長寿命化 PFI 事業に関する提案書」とする。 ・ 日付は、提出日とすること。 ・ 表紙にだけ、参加申込書に記載したグループ名を明記する。
第 1 章 市費用の低減化に関する事項	<p>(1)建設コストの低減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 更生済污水管渠合計 3,170m、取替済マンホール蓋合計 856 箇所、ます及び取付管調査合計 3,470 箇所、排水設備誤接続調査合計 3,500 箇所、流量調査 22 箇所のサービス購入料。(税抜) 	<p>総額 (=入札価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札価格は、以下に示す予定価格と最低制限価格の範囲内とする。(範囲以外は失格とする) <p style="text-align: right;">予 定 価 格 ¥444,090,000 円(税抜) ※千円以下切り捨て 最低制限価格(予定価格の 85%) ¥377,476,500 円(税抜)</p>
	<p>(2)無償で対応できる修繕業務内容及び費用の範囲</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 污水管渠更生箇所における人孔蓋周辺の段差解消及び人孔内のクラックの修繕等、提示する金額の範囲内で対応できる業務の内容について記載すること。 ・ 突発的事項等に関して無償で対応できる内容を記載すること。

章	節	留意事項
第2章 義務事業に関する事項	(1)管更生工事	<ul style="list-style-type: none"> 資格要件について確認できる書類を添付すること。(構成員等の名称は記載しないこと。)
	(2)人孔蓋取替工事	<ul style="list-style-type: none"> 資格要件について確認できる書類を添付すること。(構成員等の名称は記載しないこと。)
	(3)管更生工事と人孔蓋取替工事について広報活動の実施方法、住民並びに関係機関等との工事打合せからのフロー及びスケジュール、実施体制	<ul style="list-style-type: none"> 町会等地域住民組織に対する広報活動の方針並びに、関係機関等との調整など、手順と要点をまとめた業務フロー等を記載すること。 広報活動及び関係機関等との調整における実施体制を記載すること。
	(4)管更生工事と人孔蓋取替工事の標準仕様と標準工事手順	<ul style="list-style-type: none"> 工事に関する各種法手続き、市、府及び関係者との協議並びに工事完了後の事務フローについて記載すること。 管更生工事及び人孔蓋取替工事の各種手続き仕様並びに、標準工事仕様を記載すること。 各種手続き並びに工事实施体制（協力企業を含む）について記載すること。
	(5)柵及び取付管調査について広報活動の実施方法、住民等との打合せからのフロー及びスケジュール、実施体制	<ul style="list-style-type: none"> 町会等地域住民組織に対する広報活動の方針並びに各家庭との調整など、柵及び取付管調査の手順と要点をまとめた業務フロー等を記載すること。 各家庭との調整における実施体制を記載すること。

章	節	留意事項
第2章 義務事業に関する事項	(6)排水設備誤接続調査について広報活動の実施方法、住民等との打合せからのフロー及びスケジュール、実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・町会等地域住民組織に対する広報活動の方針並びに各家庭との調整など、誤接続調査の手順と要点をまとめた業務フロー等を記載すること。 ・留守宅への再訪問等、各家庭との調整における実施体制を記載すること。
第3章 付帯に関する事項	(1)排水設備誤接続解消工事を行ってもらう為の住民へ広報活動の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・町会等地域住民組織に対する広報活動の方針並びに各家庭との調整など、誤接続解消工事の趣旨をふまえた手順と要点をまとめた業務フロー等を記載すること。
	(2)不明水対策の効果測定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・測定方法及び技術的な内容を具体的に記載すること。
第4章 PFI事業者(SPC)の財務基盤、事業信頼性、技術力、地域貢献	(1) 資金計画、収支計画等の財務基盤 資金計画の確実性、金融機関との調整内容	<ul style="list-style-type: none"> ・資本金、構成員の出資比率について記載すること。(構成員の名称は記載しないこと。) ・資金計画の確実性、金融機関との調整内容について記載すること。 ・資金調達予定先と調達予定額、調達予定条件について記載すること。 ・協力企業への支払い方法、工事並びに調査における事故に対する損害保険等の対応予定について記載すること。 ・SPCの経営管理における管理内容と管理体制を記載すること。 ・ホームページで公表している【収支計画・資金計画】について必要事項を入力し、提出すること。

章	節	留意事項
	(2) 加入する予定の損害保険とのその内容	・第三者損害保険を初めとする加入保険が確認できる書類を添付すること。
	(3)市内における公共事業の実績内容（過去10年間の実績）	・構成員の過去10年間における市内での公共事業の実績をCORINSの竣工登録で示すこと。（構成員の名称は記載しないこと。）
	(4)管工事業の経審の点数	・審査時点で有効な直近の経審の写しを添付すること。 ・構成員が複数者ある場合は、各者の点数に管更生工事の登録をしている構成員の出資比率を乗じた点数の合計とする。
	(5)構成員又は協力企業の何れかが富田林市内本店業者	・協力企業が法人の場合は謄本、個人事業主の場合、建設業の許可証明書または誓約書（様式10）
第5章 その他	(1) 上記以外の項目に関する提案事項	・評価項目にない内容で実効性のある取組について記載すること。